

# 第1回「(仮称)宇都宮市中小企業振興プラン」

## 策定懇談会議事録

日時	平成30年9月19日(水) 10:00~11:30
場所	宇都宮市役所 14C会議室
出席者	別紙参照 ----- (事務局) 経済部 商工振興課職員
会議要旨	「(仮称)宇都宮市中小企業振興プラン」策定について意見を聴くもの 【議事】 (1) 「(仮称)宇都宮市中小企業振興プラン」の策定について (2) 「(仮称)宇都宮市中小企業振興プラン」の策定に向けた課題の整理について
<p>議事(1) 「(仮称)宇都宮市中小企業振興プラン」の策定について</p> <p>○ 主な意見・質疑応答</p> <p>【安西委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「4 プランの構成(案)」における「7 基本理念」はこれからつくるのか。 ⇒ (事務局) これからである。第2回目の懇談会で議論いただく予定</li> <li>・ 「9 事業・指標」はどんなイメージなのか。指標は数字で示すのか。 ⇒ (事務局) 現時点でのイメージでは、指標は細かく事業毎に定めるのではなく、大きな施策に対して大まかなものを考えており、原則数字を示していく。</li> </ul> <p>議事(2) 「(仮称)宇都宮市中小企業振興プラン」の策定に向けた課題の整理について</p> <p>○ 主な意見・質疑応答</p> <p>【安西委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5つの課題は、事務局の方でまとめたのか。 ⇒ (事務局) 事務局の方で素案をつくり、関係課長会議を開くなど、庁内の中で意見をまとめた。</li> </ul> <p>【木本委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題の3において、女性における事務職系の働く場の増加が求められているが、ITやAIが進む中で、事務職の仕事はどんどんコンパクトになってきている。栃木県の場合、製造業が多く、男性の職場のイメージが強いが、女性を事務職系と限定せずに職域を広げるなど、今までとは違った切り口で女性の働き方を柔軟に考えることが必要だと思う。 ⇒ (事務局) ソフト面では人材育成・能力開発に力を入れていくことで女性の職場確保を進める方向で考えており、課題5の方において、女性も含めて働きやすい環境づくりを課題としてとらえている。ハード面の支援として、オフィス立地補助金など事務系の企業を誘致して女性の雇用確保にも取り組んでいることもあり、課題3に掲げている。</li> </ul> <p>【齋藤委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心商店街の方では、色々補助制度もあるが、開業してもなかなか続かない上に、業種も偏ってきている。居酒屋系が多く、それだけでは街は成り立っていかないと思う。続けられて業種もバランス良くなるようにするには、業種別のきめ細かな助成が必要ではないか。 ⇒ (事務局) オリオン通りなどは、飲食店が多く、小売店はほとんどない。商工会</li> </ul>	

議所からもご意見をいただいているが、小売業は厳しいとのことである。

**【鈴木委員】**

- ・ 大型店の中でテナントミックスという考えがあるが、昔は商店街ミックスという考え方があった。神社があり、映画館があり、大型店に負けない専門店や娯楽があつて1日楽しめたというところがあった。  
⇒ （事務局）課題4の中で課題認識はしたところなので、皆様からご意見をいただきながら、効果的な施策を考えていきたい。

**【阿久津委員】**

- ・ 中心市街地において、時代は変わっていくのに、家賃が昔から下がらない。家賃と売り上げが合わないので、粗利の出る飲食店が増えてしまう。施策としては、家賃を下げるよう誘導するか、空き店舗の固定資産税を上げて、安く貸し出せば恩恵を受けるとか。家賃補助では短期で終わってしまうので。
- ・ もう一つは、新規創業が少ないということがある。宇都宮大学のアンケートでは、学生を対象としたものではあるが、開業したい男性は0で女性も一人ではやりたがらないとなっている。
- ・ 中小企業はそもそも余裕がない。働きやすい環境づくり、ICTには手が出せない。小規模一人親方から中規模企業まである中でどこにポイントを絞るのか。  
⇒ （事務局）基本的には、まずは全部に共通する施策を、中でも小規模に特化したものも特出ししていきたいと考えているのでご意見をいただきたい。特に商工会議所は伴走型支援もやっており、色々ご意見をいただきたい。

**【安西委員】**

- ・ 小売業というのは街に必要なが課題4の中でうたうのか。  
⇒ （事務局）小売業者の売上高の維持・拡大のところでやっていきたい。
- ・ どこかうまくやっている地域はあるのか。  
⇒ **【阿久津委員】** 中心市街地の小売店において、全国的にうまくいっているのは、大型店のないところ、地形の問題や市場の規模の問題で大型店が手が出せないところだけのようである。

**【齋藤委員】**

- ・ 家賃、固定資産税のほか中心街と郊外の差としては、駐車場もタワーと平地、有料と無料の差があり、消費者にとっては大きい差である。やはり固定資産税の価格の見直しが必要ではないか。

**【阿久津委員】**

- ・ 国・県・市いずれも何十年も中心市街地活性化をやっているが、うまくいっているところはほとんどない中で、どこも固定資産税には手をつけていない。極端に言えば、中心市街地は10年減免するとか、郊外だと割高になるとかやらないと戻ってこない。税制をいじるのは難しいと思うがそこに手をつけざるを得ないのではないか。  
⇒ （事務局）税制をいじるのは難しいと思うが、他の手法も含めて色々考えていきたい。夜や土日は賑わっているが、平日の昼間が問題であり、平日の昼間の賑わいに重要な高齢者、大学生などをターゲットに何かできればと考えているので、何かいい知恵があればいただきたい。中心市街地の店舗で、インターパークにも出店しているところにヒアリングしてきたが、大型店の方は黒字で商店街の方は赤字ということだった。
- ・ オリオン通りなどは基本的に住んでいる人は少ない。中心市街地の空き店舗を市で借り上げて市営住宅にするとかいうところまで考えないといけない。

**【安西委員】**

- ・ 創業マインドは課題3あたりで触れていくのか。商工会議所などが頑張ってくれているが、もう少し増やしたいと考えている。  
⇒ (事務局) そうなる。学生の頃から意識をもってもらおう取組や教育が必要かと思う。

**【池田委員】**

- ・ 5つの課題の中で3つほどあるが、まずひとつは、課題1の2つ目にある商業・サービス業のICT利活用への支援は重要である。人手不足などで本来得られる利益を得られていないところもある。キャッシュレスの流れが進んでいる中で、QRコードのように初期投資がいらぬものもある。
- ・ 次に、課題1の3つ目の中核的企業を栃木県に根付かせるのはハードルが高い。プランの中でどんな施策が出せるのか気にしている。「産業振興ビジョン」の中の「コネクタハブ」「産業集積」と重複する。中核的企業に対する施策はハードルが高いが、重要である。
- ・ 最後に、課題5の3つ目にある中小企業の人材育成だが、トップダウンで統制できるのは80名までであり、それより増えると中間管理職がいる。記載の表現も「従業員のICT利活用能力の不足などの課題を抱えているため」というより「中小企業がさらなる発展をしていくため」など課題を大きくとらえられるようにしてはどうか。人材育成は肝であるが、あまりクローズアップされないのが、重要であることを掲げた方がよい。  
⇒ (事務局) ICTについては、企業によって格差があるため、今年ICTの補助金をつくった。これも施策に入ってくると思うのでPR等ご協力をお願いしたい。中核企業がないという課題は認識しているので、皆様にもご意見をいただきたい。人材育成は重要なので、今後も焦点をあてていきたい。
- ・ 中核企業が零細企業を引っ張っていくのが理想であり、プランの中でうたっていくのかはわからないが、問題提起をしておきたい。

**【安西委員】**

- ・ 人材育成の部分はしっかり検討するべきだと思う。  
⇒ (事務局) 余裕のない小規模事業者などは支援機関にも協力いただいているが、市役所だけでは育成には限界があるので、ご協力をお願いしたい。

**【橋本委員】**

- ・ 我々零細企業の中で話題に出るのは、未婚者の増加、少子高齢化、後継者不足、人手不足、募集はしているが若い人の雇用ができないなどである。難しいと思うが、人材確保がうまくいくような施策があるといいかなと思う。  
⇒ (事務局) 小規模企業から聞くのは、人材育成するよりは、経験や技術を持った人を雇った方が早いということである。いいアイデアがあればいただきたい。また、廃業を防ぐため、事業承継にも力を入れていきたい。商工会議所と連携して、セミナーを開催しているので周知の協力をお願いしたい。

**【中荒井委員】**

- ・ 企業が人材育成の場に出向けないのが現状。これをどうするか考えるのが我々の役目だと思うので、一緒に考えていきたい。郡部はほとんど商店街がなくなっている。

**【池田委員】**

- ・ 指標は、数値的目標をイメージして施策を進めるために必要である。検証作業ができるようにした方がよい。

**【木本委員】**

- ・ 指標は、先ほどおおまかな感じで設定したいという話だったが、課題1つに指標1つという感じなのか。  
⇒ 課題1つにいくつか設定したい。

「(仮称) 宇都宮市中小企業振興プラン」策定懇談会 委員名簿

区分	氏名	所属団体	所属・役職等	出欠
委員長	安西 克巳	作新学院大学 栃木県信用保証協会	客員教授 博士 (経営学) 保証部 部長	出席
副委員長	池田 浩之	(株)あしぎん総合研究所	経営サポート部 本部長	出席
委員	阿久津 隆	栃木県中小企業団体中央会	事務局長	出席
委員	木本 睦子	栃木労働局	雇用環境・均等室 室長	出席
委員	齋藤 高藏	宇都宮市商店街連盟	会長	出席
委員	鈴木 毅	宇都宮商工会議所	経営支援部 部長	出席
委員	中荒井 博	うつのみや市商工会	事務局長	出席
委員	橋本 一朗	宇都宮機械工業会	会長	出席